

News Release

2018年1月24日
 一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

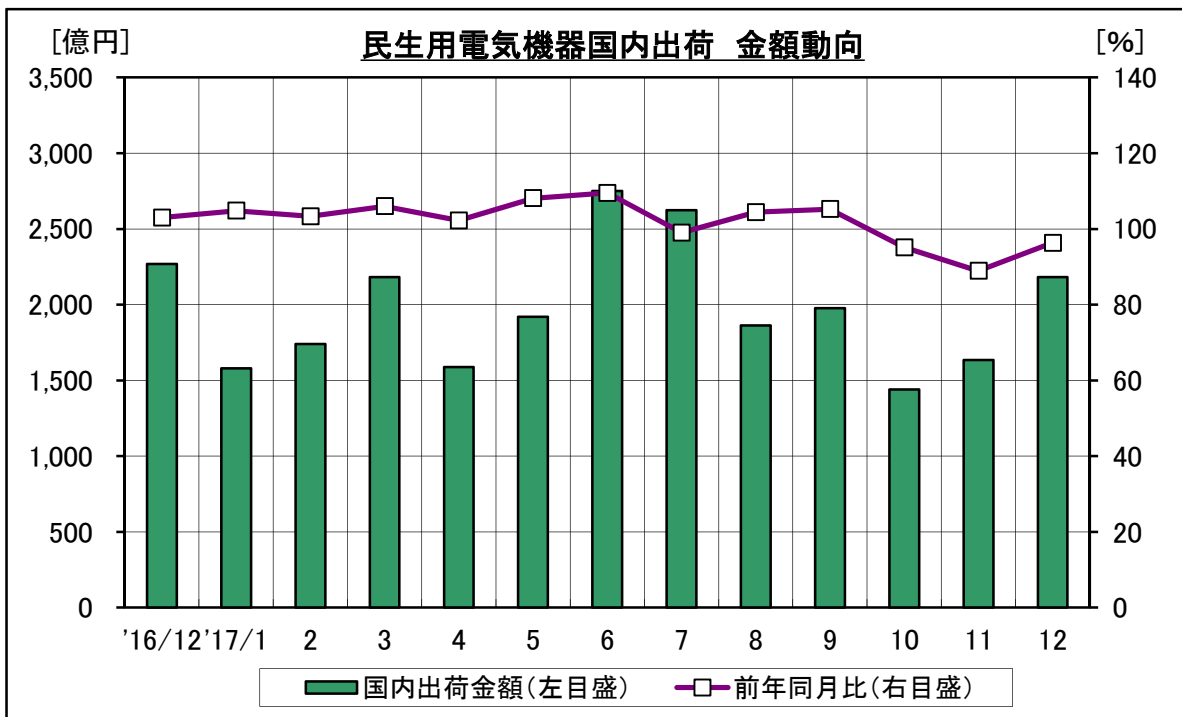
民生用電気機器 2017年12月度ならびに2017年(暦年)国内出荷実績

【概況】

民生用電気機器の2017年12月度の国内出荷金額は、2,183億円、前年同月比(以下前年比と略記)96.3%と3カ月連続のマイナスとなった。

製品別の国内出荷金額を見ると、電気冷蔵庫は318億円、同89.6%と2カ月連続のマイナス、ルームエアコンは486億円、同98.8%、電気洗濯機は338億円、同97.6%となり、ともに3カ月連続のマイナスとなった。

2017年計(1月-12月)は、2兆3,479億円、前年比102.0%となり2年連続のプラスとなった。夏の天候不順の影響が一部地域でみられたものの、安定した買替え需要に支えられ、省エネ製品・高付加価値製品が堅調に推移し、1997年以降最も高い出荷金額となった。



単位: 金額 億円、前年比 %

年月	'16/12	'17/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2017年計
金額	2,268	1,579	1,740	2,181	1,589	1,919	2,750	2,623	1,863	1,977	1,441	1,634	2,183	23,479
前年比	103.0	104.8	103.3	106.0	102.2	108.1	109.5	99.0	104.4	105.2	95.1	88.9	96.3	102.0

【 2017年12月度ならびに2017年計(暦年)主要製品の国内出荷 】

● ルームエアコン

- ・ 2017年12月は、565千台、前年比98.9%となり、2カ月ぶりのマイナスとなった。
- ・ 2017年計は、8,924千台、前年比106.9%となり、2年連続のプラスとなった。昨夏の天候不順の影響が一部地域でみられたものの、消費者の省エネ製品への関心は継続しており、過去最高を記録した2013年に次ぐ高い水準となった。

● 電気冷蔵庫

- ・ 2017年12月は、291千台、前年比88.8%となり、3カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2017年計は、3,872千台、前年比101.5%となり、2年連続のプラスとなった。少人数世帯の増加もあり、容量別構成比では400L以下の中・小型タイプの構成比がやや拡大した。

● 電気洗濯機

- ・ 2017年12月は、466千台、前年比100.8%となり、6カ月ぶりのプラスとなった。
- ・ 2017年計は、4,605千台、前年比104.7%となり、2年連続のプラスとなった。全体の約9割強を占める全自動洗濯機は、まとめ洗いや大物洗いへのニーズが高まり大容量へとシフトしている。

● 電気掃除機

- ・ 2017年12月は、630千台、前年比93.7%となり、2カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2017年計は、4,995千台、前年比99.6%となり、4年連続のマイナスとなった。「キャニスター形」の台数構成比は減少する一方で、「たて形」の構成比が伸長している。

● 電子レンジ

- ・ 2017年12月は、486千台、前年比108.0%となり、3カ月ぶりのプラスとなった。
- ・ 2017年計は、3,463千台、前年比109.5%となり、2年連続プラスとなった。全体の約7割を占める「オープンレンジ」も堅調ながら、「単機能レンジ」の出荷が増加している。

● ジャー炊飯器

- ・ 2017年12月は、663千台、前年比97.0%となり、6カ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2017年計は、5,571千台、前年比98.4%となり、2年連続のマイナスとなった。高火力で炊き上げる「IH式」の台数構成比は、約7割強で推移している。

● IHクッキングヒーター

- ・ 2017年12月は、69千台、前年比96.9%となり、7カ月ぶりのマイナスとなった。
- ・ 2017年計は、762千台、前年比101.9%となり、2年連続のプラスとなった。清掃性や調理機能の向上も進み、堅調に推移している。

以 上